

まちのくすりやさん 第7号

今回のおはなし

● 花粉症について

● ザ・タバコ「COPD」

● Q&A



《花粉症と薬との相互作用》

花粉症とは、花粉で起こるアレルギーでスギ花粉など、ある特定の花粉が目に入ったり、鼻から吸い込まれたりすることによって起るアレルギー症状をいいます。体が異物に抵抗することで、様々なアレルギー症状を引き起こすといわれています。

花粉症のお薬には、抗アレルギー剤(アレルギーを起こす物質を出しにくくする薬で予防的に使います)と抗ヒスタミン剤(アレルギーを起こす物質の作用を抑える)の2種類があります。

たとえば、こんな相互作用があります。

| 相互作用を起こす薬 | 出ると思われる副作用 |
|----------------------|--|
| 高血圧薬 | 鼻づまりが緩和されないことがあります。 |
| 胃腸薬 (鎮痛・鎮痙剤を含むもの) | 口が渇く、尿が出にくい、便秘、強い眠気などが生じることがあります。 |
| 精神安定剤 鎮静剤 | お互いの作用を増強することがあり、眠気、口が渇く、尿が出にくい、などがおこることがあります。 |
| お酒を飲む | お酒を飲むと眠気が強く現れたり、頭痛がしたり、悪酔いしたり、薬が効きすぎるがあります。 |

抗アレルギー剤や抗ヒスタミン剤の服用は、人によっては眠気、口が渇く、など、不快感を伴う症状があらわれることがありますので、特に自動車の運転、危険を伴う機械の操作は避けるようにしましょう。また、アルコール類は控えて下さい。

これらのお薬のすべてではなく、ある種のもので相互作用が起こる可能性があるということです。で、気にかかった時には、薬剤師などに遠慮なく聞いて下さい。

息切れ・せき・たん⇒慢性閉塞性肺疾患(COPD)

原因のほとんどがタバコ！

息切れを感じるようになって病院を受診したら「慢性閉塞(へいそく)性肺疾患(COPD)と診断された—そんな人が少なくないのでは。気管支や肺に炎症が起き、呼吸機能が落ちる。初めは、せきやたん、息切れといった症状が出る事が多いが、つい見過ごされがち。重くなると、風邪でも呼吸不全になる事もある。「肺の生活習慣病」とも言われています。

また、脳血管障害や胃潰瘍、骨粗しょう症など、COPD は様々な合併症を引き起すことがわかってきました。

《いったん悪くなってしまった肺は元に戻らない》



Q&A

Q : 近頃、OD錠とか、D錠というお薬の名前を目にする事が多くなりましたが、どういう薬ですか？

A : OD錠は、「口腔内崩壊錠」を表す言葉です。文字通り、口の中で溶ける錠剤で、唾液や少ない水分ですぐに溶けて服用しやすいお薬です。

飲んだ後の感じは、糖尿病の薬など食前に飲む薬は、食事に影響を与えないように、味がないように製造されています。それとは反対に、食後に飲むことの多い胃のお薬などは、薬の持つ苦味を消すために、甘味料や香料などを使用しているケースが多いです。

他のお薬と一緒に飲むときは、全部水でお飲み下さい。胃や腸で溶けるお薬は、消化器まで到達しないと効き目がありませんから、水でお薬を飲む事は大切です。OD錠は多めの水で服用しても効果は変わりません。

一言メッセージ

明けましておめでとうございます。平成20年も皆様の身近な話題を載せていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。是非ご意見等お寄せ下さい。



ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yakuura@violin.ocn.ne.jp